

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月1日(金) 四回戦

Mコート 第4試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
洛南	98	{ 22 - 21 24 - 9 23 - 33 }	79	県立新潟商業
京都				新潟

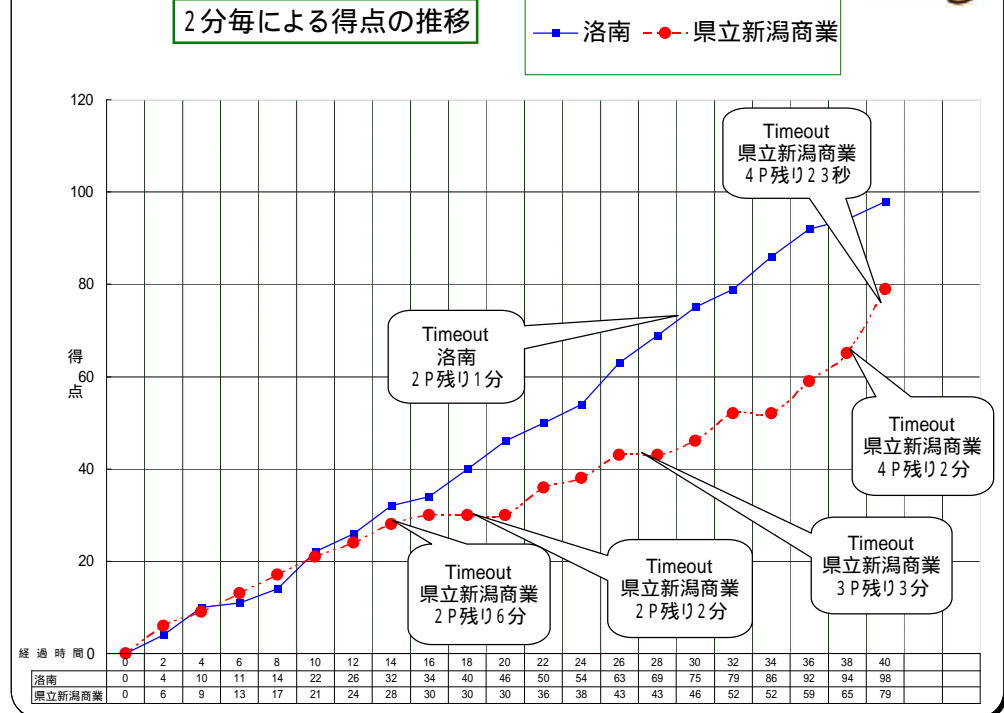
洛南

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 将斗	X	28	2	2	11	15	0	0	0	1	5	2	0	4	0	37
5	比江 島 慎	X	25	0	2	12	18	1	2	2	5	3	3	0	4	0	37
6	谷口 大智	X	19	0	0	9	10	1	2	1	3	7	6	1	3	0	36
7	藤原 龍介	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
8	相井 昂大	/	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
9	加藤 寛樹	/	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1	0	6
10	蛭 名 涼	X	9	1	2	3	3	0	0	1	0	4	2	0	2	0	30
11	河上 宗平	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	小林 遥太	/	2	0	0	1	2	0	0	4	0	1	1	0	0	0	11
13	鈴山 高範	X	8	0	2	4	7	0	0	3	5	0	2	0	1	0	19
14	塩谷 亨	/	5	0	0	2	4	1	4	3	1	4	1	1	2	1	16
15	木村 晃大	/	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
コーチ	吉田 裕司	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	6	2	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	98	3	9	43	63	3	8	18	16	31	20	2	18	1			200
確率	33.3%			68.3%				37.5%									計 47

県立新潟商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	横坂 健人	X	23	3	7	4	8	6	8	2	0	0	4	3	4	0	40
5	近藤 大	X	10	0	3	3	8	4	5	4	2	0	2	4	3	0	38
6	山崎 将也	X	20	2	7	6	8	2	2	3	2	3	1	2	3	1	40
7	五十嵐 良心	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	佐藤 圭汰	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	小野寺 弘晃	X	10	0	2	5	7	0	0	0	0	2	1	2	0	0	33
10	田村 亮	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
11	青山 充	/	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6
12	新保 寛人	X	10	2	9	2	2	0	0	1	0	2	1	1	1	0	35
13	佐藤 寛人	/	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
14	岩淵 俊紀	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	村越 俊紀	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	中屋 廣昭	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	2	1	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	79	9	31	20	33	12	15	10	5	10	11	12	12	1			200
確率	29.0%			60.6%				80.0%									計 15

2分毎による得点の推移



戦評

ここまで試合巧者ぶりを存分に発揮し、安定した力で順調に勝ちあがってきた洛南と、激しいディフェンスを武器に波に乗る新潟商業との一戦。

第1P両チームマンツーマンディフェンスながら新潟商業はフルコートでの展開。新潟商業はオールアウトからスペースをいかして#4横坂を中心に1対1と3Pシュートで得点。対する洛南は細かいミスが目立ち本来のリズムが掴めないながらも#4佐藤のシュートを軸に応戦する。

第2P新潟商業の粘り強いディフェンスをかいくり洛南は落ち着いて#4佐藤、#5比江島、#6谷口のシュートで着実にリードを広げる。対する新潟商業はアウトサイドのシュートが決まらないまま46-30洛南リードで折り返す。

第3P中盤から再び得点が止まった新潟商業に対して、洛南は#5比江島を中心としたリズムに乗った多彩な攻めで得点を重ね一気に突き放す。

第4P立ち上がりから3-2ゾーンで流れを変えたい新潟商業は、追い上げを図るも、逆転するには至らなかった。結局、総合力で上回る洛南が勝利を収めたが、新潟商業の粘り強くボールに喰らいついていく姿勢は素晴らしかった。

主審	野口 浩正	副審	吉田 憲生	戦評	長原 康 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	---------------